

国土交通省近畿地方整備局
資 料 配 布

配 布	平成27年3月6日（金）
日 時	14時00分

件 名	「大阪湾港湾の基本構想」第3回懇談会の議事概要
-----	-------------------------

概 要	<p>平成27年3月3日に開催した「大阪湾港湾の基本構想」第3回懇談会の議事概要を配布いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大阪湾港湾の基本構想」第3回懇談会 平成27年3月3日（火） 15:00～17:00 神戸地方合同庁舎1階第4会議室 出席者及び議事概要は、別紙のとおりです。
-----	---

取り扱い	_____
------	-------

配付場所	近畿建設記者クラブ 神戸海運記者クラブ 大手前記者クラブ 神戸民放記者クラブ みなと記者クラブ
------	--

問合せ先	国土交通省 近畿地方整備局 港湾空港部 港湾計画課 課長 島村 博 課長補佐 石田 博 TEL (078) 391-8361
------	---

(別紙)

「大阪湾港湾の基本構想」第3回懇談会の開催について

【日時・場所】

平成27年3月3日(火) 15:00~17:00

神戸地方合同庁舎 1階 第4会議室

【委員及び出席者名簿】

(敬称略) ◎座長、○座長代理

	所 属		委 員	出 席 者	
学 識 経 験 者	大阪大学大学院教授		赤井 伸郎	出席	
	流通科学大学教授		今西 珠美	出席	
	一般社団法人京都経済同友会理事		上村 多恵子	出席	
	京都大学防災研究所教授		小野 憲司	出席	
	神戸大学名誉教授		◎黒田 勝彦	出席	
	神戸大学大学院教授		○竹林 幹雄	出席	
	大阪大学大学院教授		西田 修三	出席	
	京都大学経営管理大学院経営研究センター 特命教授 株式会社社会システム総合研究所 代表取締役		西田 純二	出席	
	京都大学大学院准教授		松島 格也	出席	
	流通科学大学教授		森 隆行	欠席	
民 間 ・ 団 体	公益社団法人関西経済連合会	理事	阿部 孝次	代理	地域連携部 次長 西村和芳
	一般社団法人日本船主協会 阪神地区船主会	議長	安居 尚	出席	
	大阪港運協会	会長	溝江 輝美	代理	理事・業務部長 西田芳治
	兵庫県港運協会	会長	佐伯 邦治	出席	
	阪神国際港湾株式会社	専務執行役員	豊田 巖	出席	
	大阪湾広域臨海環境整備センター	常務理事	池田 秀文	出席	
港 湾 管 理 者	大阪府	港湾局長	井上 博睦	代理	次長 中田憲正
	兵庫県	県土整備部長	田中 稔	代理	土木局港湾課主査 中尾進
	大阪市	港湾局長	徳平 隆之	代理	計画整備部計画担当 課長代理 津田智康
	神戸市	みなと総局長	吉井 真	代理	技術担当部長 田中誠夫
国 土 交 通 省	近畿運輸局	海事振興部長	前川 一郎	出席	
	神戸運輸監理部	海事振興部長	村松 智司	出席	
	近畿地方整備局	副局長	池田 薫	出席	
		港湾空港部長	稲田 雅裕	出席	
		神戸港湾事務所長	佐藤 敬	出席	
	大阪港湾・空港整備事務所長	中本 隆	出席		

【オブザーバー】

所 属		オブザーバー	出席者	
経済産業省	近畿経済産業局	地域経済部 地域開発室長	須山 季子	出席
国土交通省	大阪航空局	空港部 次長	谷川 晴一	出席
	近畿地方整備局	道路部 道路調査官	沢田 道彦	出席

【議事次第】

- (1)大阪湾港湾の基本構想策定までのスケジュール
- (2)第2回懇談会の主なご意見
- (3)大阪湾港湾の基本構想 骨子(案)について

【主な発言】

(基本構想のサブタイトル “SMART ベイの実現を目指して”について)

- ・提示のキーワードは、「大阪湾の持続的な発展(Sustainable)」、「成熟社会を切り拓く(Matured)」、「最先端をリードする(Advanced)」、「世界とつながる(Relation)」、「伝統と文化を活かし育む(Traditional)」という、懇談会での議論を踏まえた今後の大阪湾港湾の目指すべき方向性を示しており、今までにないスマートの意味でもあり、これからの取組の内容に繋げていただきたい。
- ・情報分野でのスマートとは、「対象を構成する多数の要素が高度に連携をして目的に向けて統合化、組織化された活動が出来ること」を指す。今回提示の骨子では、例えば、港湾区域の外側の都市との連携などが盛り込まれており、また、今後は様々な分野での連携が重要となるため、SMARTは適切なキーワードと考える。
- ・SMARTの意味合いを明確にして、検討を進めていくのがよいのではないかと。

(LNGや原油等のバルク貨物対応について)

- ・大阪湾港湾の中には、近畿のエネルギー供給の役割を担っている港湾もあり、災害時のリダンダンシーなどの面も踏まえエネルギー資源等のバルク貨物の重要性についても盛り込んでどうか。

(コンテナ船舶の大型化対応について)

- ・コンテナ船舶の大型化は世界のトレンドではあるが、日本への投入の可能性はどうか。
- ・現実に1.4万TEUクラスの入港もある中、さらなる大型化により、水深のみならずバース長、航路幅や回頭水域の広さ、コンテナヤード、荷役機械等も様々な対応が想定され、これらの対応を考えておくことが必要ではないか。
- ・将来的には大型化が進むと考えられるので、その対応として基本構想に盛り込む必要があるのではないかと。

(広域連携について)

- ・港湾の広域連携として、既に4つの港湾管理者で連携されている取組もあるが、ポートオーソリティというものについては、どのような業務について可能なのか等、内容を踏まえた長期的な議論が必要ではないか。

【参考】

大阪湾港湾の基本構想 ～SMARTベイの実現をめざして～ 骨子（案）

目次

I はじめに

1. 基本構想策定の背景
2. 大阪湾港湾の基本構想とは

II 大阪湾を取り巻く現状と将来像

1. 大阪湾を取り巻く現状と課題
 - (1) 産業
 - (2) 貿易・物流
 - (3) 文化・交流
 - (4) 生活環境
 - (5) ナショナル・レジリエンス
 - (6) エネルギー
 - (7) 地球環境
2. 目指すべき将来像
 - (1) 将来像の考え方
 - (2) 目指すべき将来像

III 未来の大阪湾港湾～SMARTベイの実現を目指して～

1. 大阪湾港湾の方向性
2. 将来像実現に向けた大阪湾港湾の取組
3. 将来像実現を支援するための大阪湾港湾の取組

用語集

※上記は今回の懇談会で提示したものであり、今後修正の可能性があります。

以上